

北野高校第 63 期 正岡 徹 大阪成人病センター顧問、骨髄バンク理事長、正岡会会長、
囲碁梁山泊発行人、ライフこども囲碁クラブ理事長、恵生会、厚生会第一病院名誉院長

1 私の白血病治療の歴史

1958 年医師になり阪大第 2 内科入局、最初の受け持ちが 8 歳の急性白血病、まったく何もできず死亡された。無力感にさいなまれ、血液グループに入った。以後白血病に一生携わることになる。1961 年大阪成人病センターに勤務、1963 年初診の成人急性白血病の 5 年生存例が出た。日本の第 1 例、1968 年までの大阪成人病センターの急性白血病 5 年生存率は 1/187、白血病が治るかもしれない、治したいと思うようになった。以後 10 年努力したが 5 年生存率は 10%を超えない。1974 年にノーベル賞受賞のトーマス教授の骨髄移植の論文が発表され、日本でも文部省骨髄移植研究班が組織され名古屋、金沢、大阪で骨髄移植が始まった。その後厚生省無菌病室研究班長、骨髄移植研究班長を務めた。当初の成績は不良で連戦連敗だった。大阪成人病での最初の 35 例では当初ほとんど成功例はなかったが 1984 年の第 21 例目から突然患者が死ななくなった。大阪における骨髄移植の夜明けであり、日本の夜明けでもあった。

2 骨髄バンク発足

骨髄移植の成績はようやく安定してきたが、これは兄弟に白血球の型 HLA が一致した提供者がいる人に限られていた。非血縁者に骨髄提供者を求める骨髄バンクが 1991 年発足し、最初の計算では 80%の患者に適合者を見つかる 30 万人のドナー候補が必要とされた。私は 2005 年に理事長になったが、多くの方の努力と善意により 2012 年には 48 万人のドナー候補の登録がえられ、年間 1200 例の骨髄移植が行われている。また臍帯血バンクも 2001 年に設立、1000 例近い臍帯血移植も行われるようになった。これには厚労省、学会、日赤、骨髄、臍帯血バンクの協力と一般社会の善意による支援があった。現在造血細胞移植法案の制定に向けて努力が行われている。2007 年私は日中協定を結び、現在欧米、韓国、中国との相互検索協力も行われている。プロ野球、バレーボール協会、新極真会空手など多くのスポーツ団体、ホセ・カレーラスのコンサートなど多くの公演の支援もいただいた。

3 「正岡会」

わが一族のルーツを探しに愛媛にでかけて多くの正岡さんに出会い正岡会を結成した。1136 年北条経孝が正岡郷の領主となり、正岡経孝と名乗ったのが始まりで河野一族に属し、4 城をもって繁盛していたが 1585 年秀吉の四国征伐で滅ぼされ、一族離散した。現在 2200 名の正岡さんが確認された。2004 年正岡姓が代々神主を勤める高輪神社で正岡 870 年祭りを開催、以後 4 年ごとに 2008 年、今年 7 月 15 日に第 3 回正岡祭りを開催する。兄の昭作詞作曲の「正岡一族の歌」を今年はカンツオーネコンクール 3 位だった正岡美津子が歌う。清酒「正岡紀伊守」焼酎「正岡幸門城」子規の食べた菓子パンなどが提供される。

4 囲碁

子供のころから囲碁をしていた。1967 年留学中はベルリン工科大学囲碁クラブのコーチだった。毎年池田市医師囲碁クラブで海外遠征、季刊「囲碁梁山泊」の発行人でもある。ドイツ本因坊とよばれたデューバルと鳩山一郎との対局も発掘した。